



リモートデスクトップ 操作マニュアル

SKSS

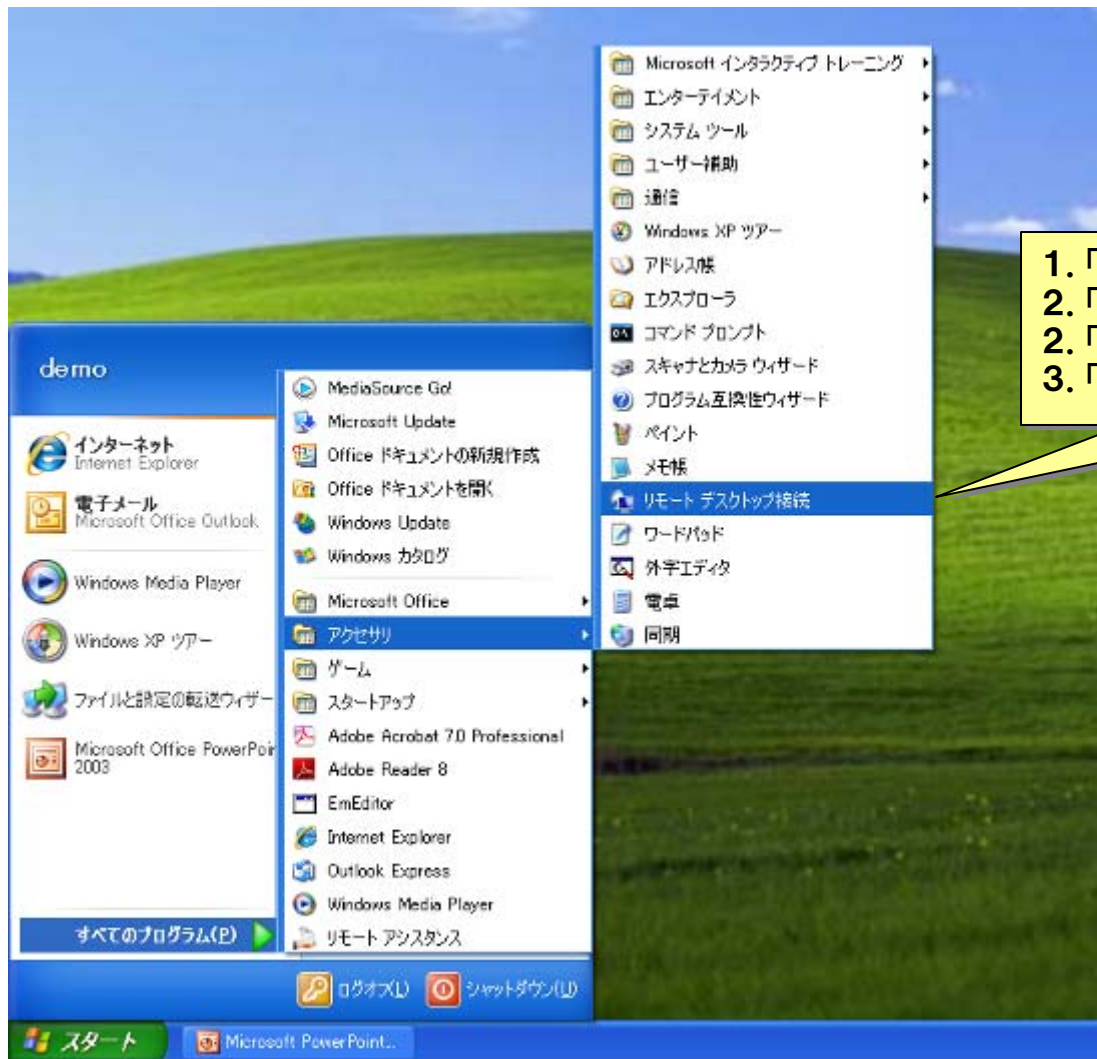
SecureRDP®

リモートデスクトップ操作マニュアル

目次

- 1ページ リモートデスクトップ接続を起動する
- 2ページ リモートデスクトップ接続を設定する(全般)
- 3ページ リモートデスクトップ接続を設定する(画面)
- 4ページ リモートデスクトップ接続を設定する(ローカルリソース1)
- 5ページ リモートデスクトップ接続を設定する(ローカルリソース2)
- 6ページ リモートデスクトップ接続を設定する(プログラム)
- 7ページ リモートデスクトップ接続を設定する(エクスペリエンス)
- 8ページ リモートデスクトップ接続を設定する(詳細設定)
- 9ページ リモートデスクトップ接続を設定する(接続設定の保存)
- 10ページ データセンター側のWindowsに接続してみよう
- 11ページ データセンター側のWindowsに接続してみよう(注意事項)
- 12ページ データセンター側のWindowsに接続が成功した画面
- 13ページ データセンター側のWindowsから切断(ログオフ)してみよう

リモートデスクトップ接続を起動する

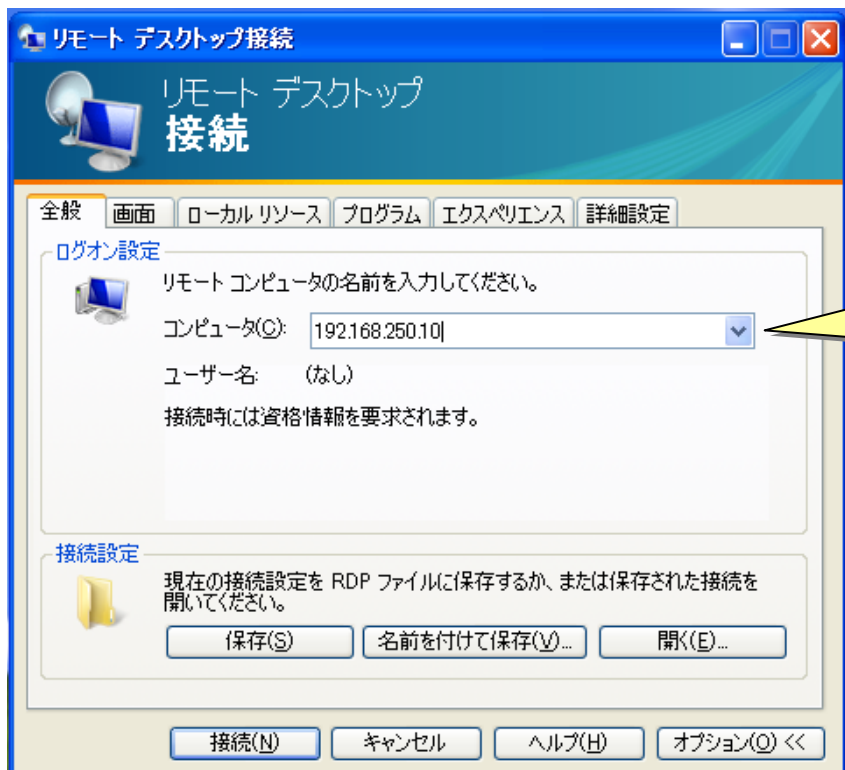


1. 「スタートボタン」をクリック
2. 「すべてのプログラム」をクリック
2. 「アクセサリ」をクリック
3. 「リモートデスクトップ接続」をクリック

リモートデスクトップ接続を設定する(全般)



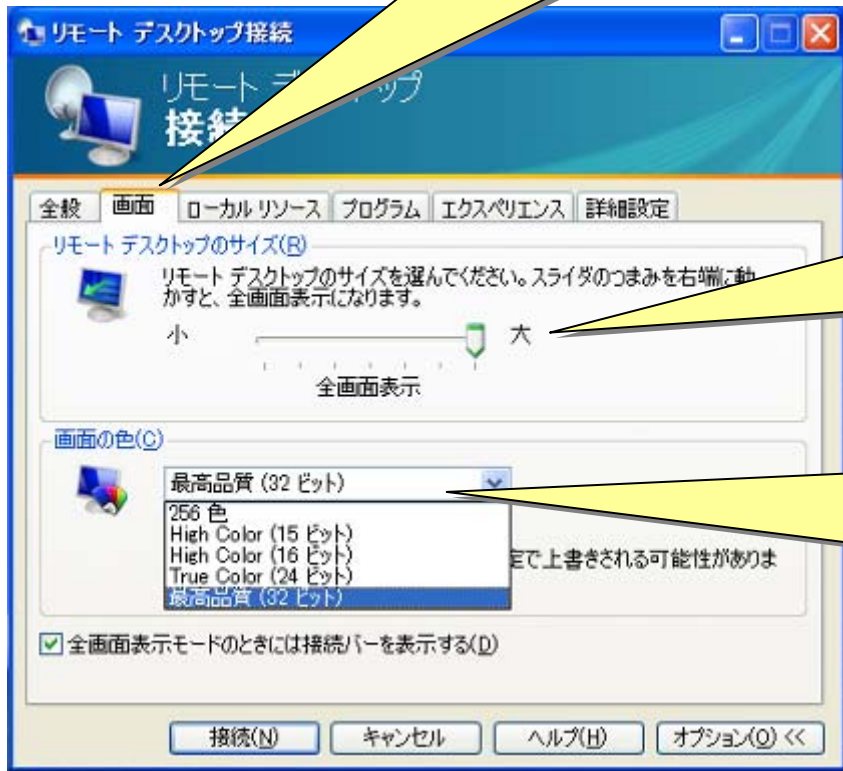
この画面が出たら「オプション」をクリック



コンピュータ(C:)に
「192.168.250.10」と入力

リモートデスクトップ接続を設定する(画面)

「画面」のタブをクリックすると、この画面になります

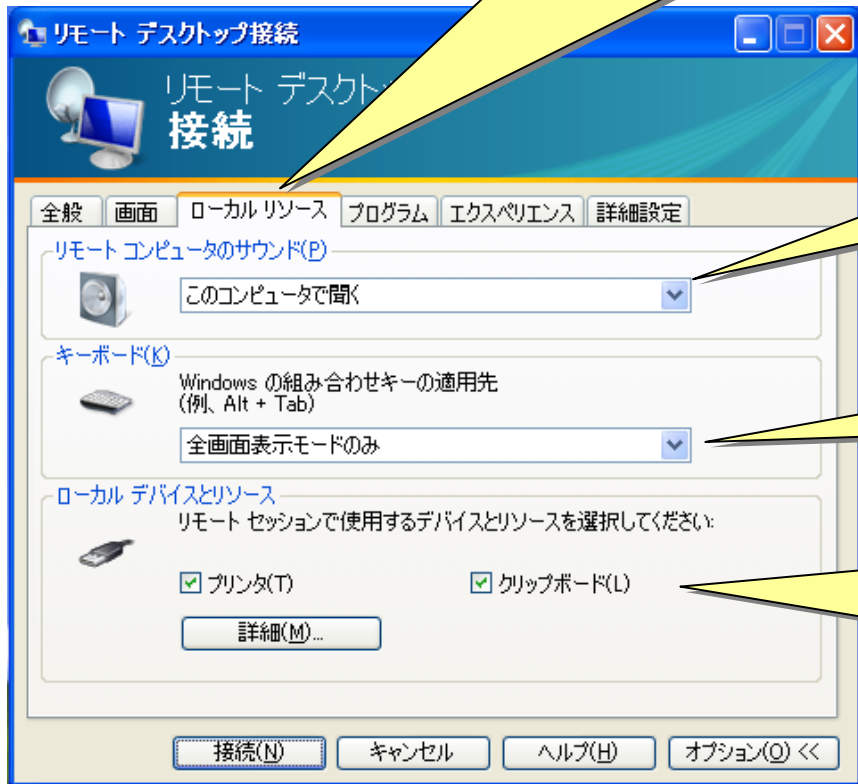


普通は「大」で問題ありませんが、データセンター側のWindowsの動きが遅い時は「小」の方向に動かして表示画面を小さくすると動きが早くなります。少しずつ調整して下さい。

普通は「高品質(32ビット)」で問題ありませんが、データセンター側のWindowsの動きが遅い時は「True Color (24ビット)」や「High Color (16ビット)」を選ぶと動きが早くなります。ただし、カラー表示を少なくすると見た目が悪くなりますので、少しずつ調整して下さい。

リモートデスクトップ接続を設定する(ローカルリソース1)

「ローカルリソース」のタブをクリックすると、この画面になります

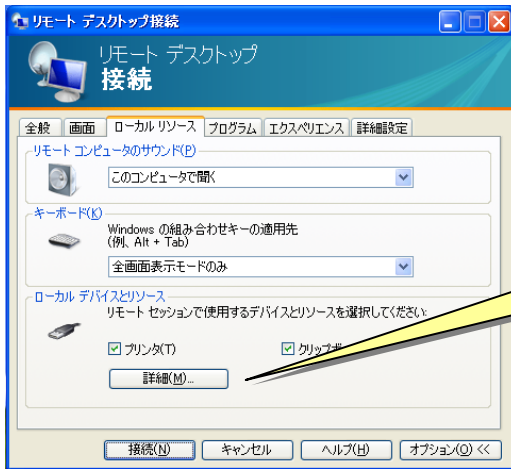


「このコンピュータで開く」を選択して下さい。
通常はこのままで結構です。

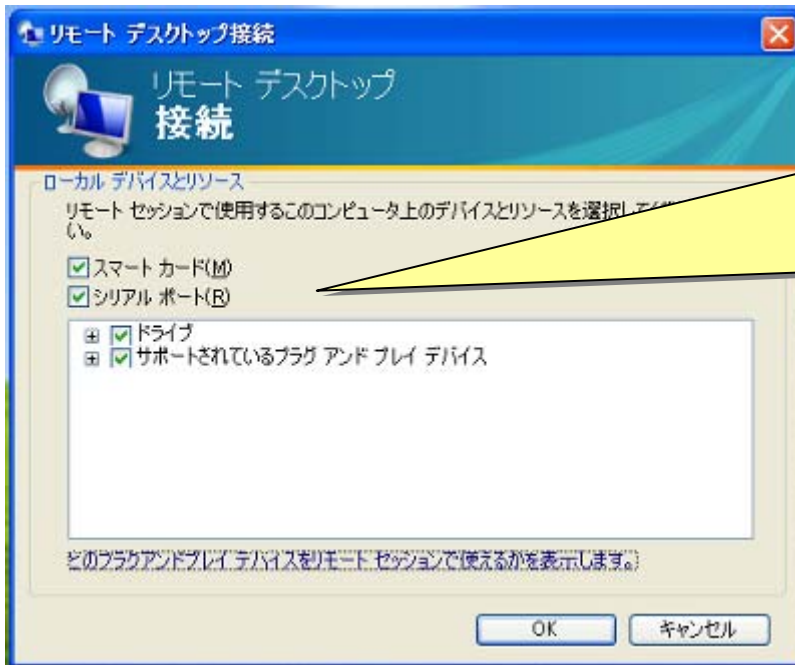
「全画面表示モードのみ」を選択して下さい。
通常はこのままで結構です。

「プリンタ」と「クリップボード」にチェックを入れて下さい。
チェックを入れる事によって、手元で操作しているパソコンからプリントアウトする事ができたり、テキストをカット & ペーストする事ができます。

リモートデスクトップ接続を設定する(ローカルリソース2)

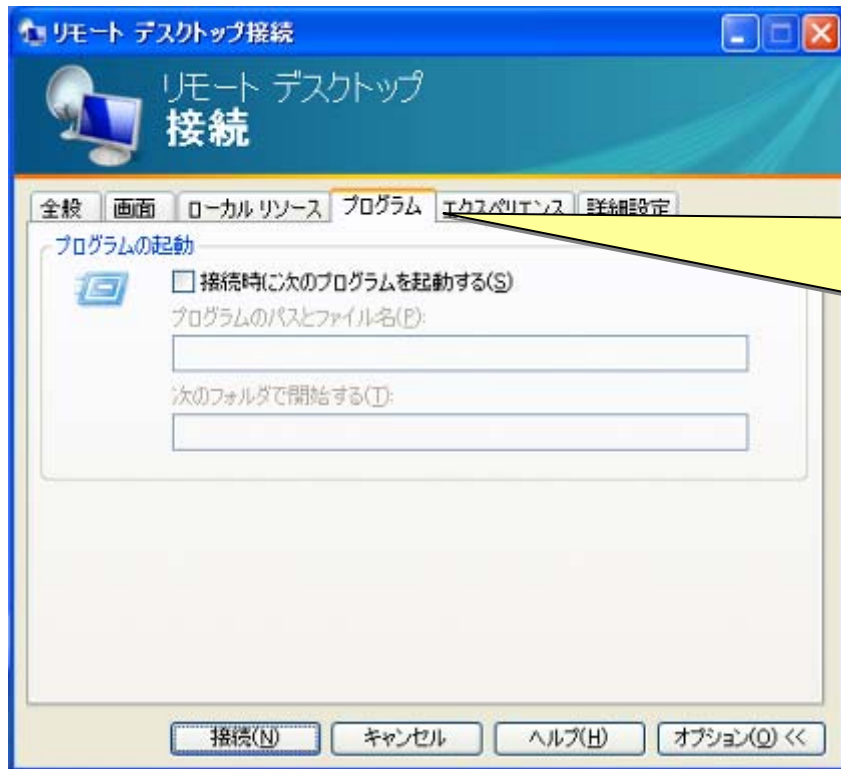


「詳細」をクリックすると下の画面が表示されます



すべてにチェックを入れて下さい。
チェックを入れる事によって、
手元のパソコンにUSBケーブルやプリンターケーブルで
接続しているプリンターや手元のパソコンのドライブを
データセンター側のWindowsでも操作することが出来る
ようになります。
データセンター側のWindowsの動きが遅い時は、
「ドライブ」や「スマートカード」のチェックを外すと
動きが早くなります。

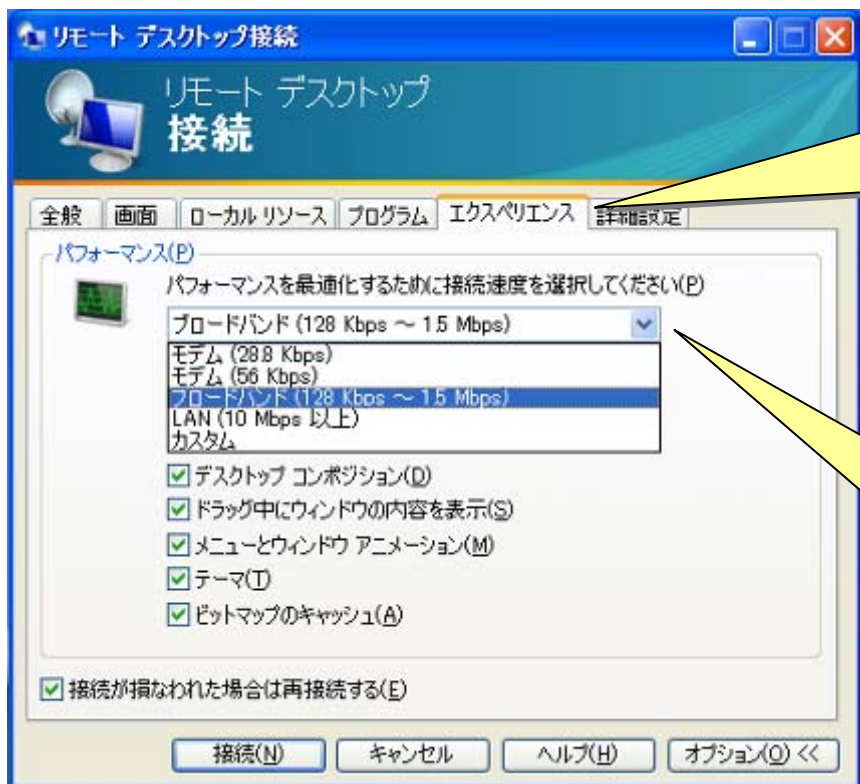
リモートデスクトップ接続を設定する(プログラム)



「プログラム」のタブをクリックすると
この画面が表示されます

ここは、データセンターのWindowsにログインした
時に、自動的に起動させたいプログラムを
設定する画面ですが、通常は何も設定しないで
結構です。

リモートデスクトップ接続を設定する(エクスペリエンス)

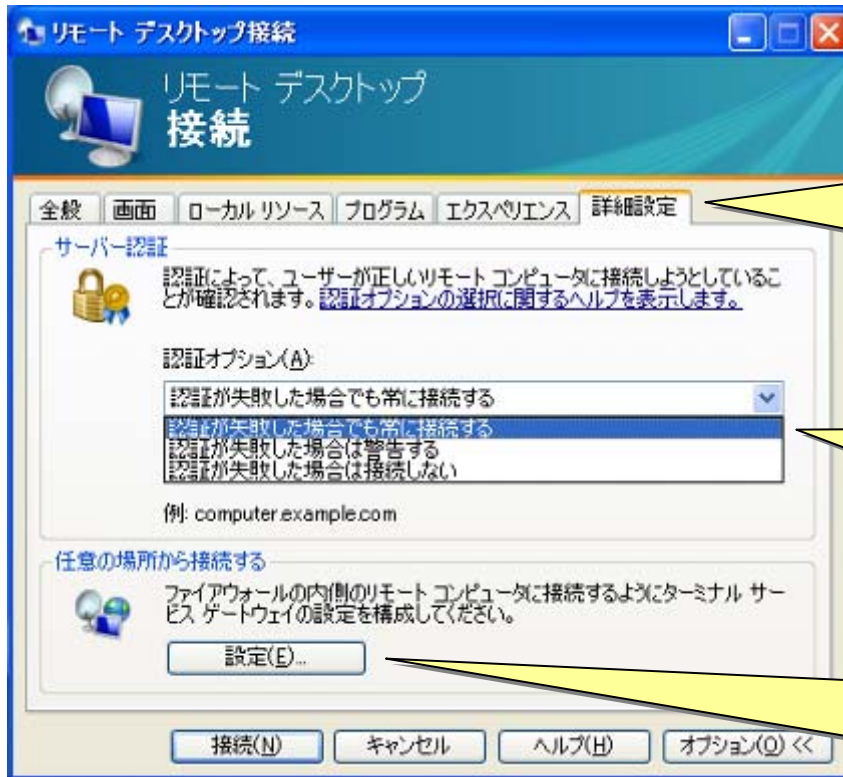


「エクスペリエンス」のタブをクリックするとこの画面が表示されます

ここは、データセンターとの通信速度を最適化する設定を行う画面です。

通常は「ブロードバンド(128kbps~1.5Mbps)」を選択して下さい。
センター側のWindowsの動きが遅い場合は、「モデム(56kbps)」を選択すると早くなりますが、画面の表示が少し悪くなるかもしれません。

リモートデスクトップ接続を設定する(詳細設定)



「詳細設定」のタブをクリックするとこの画面が表示されます

ここは、データセンターとの認証を設定する画面です。

ここは「認証が失敗した場合は接続しない」を選択して下さい。

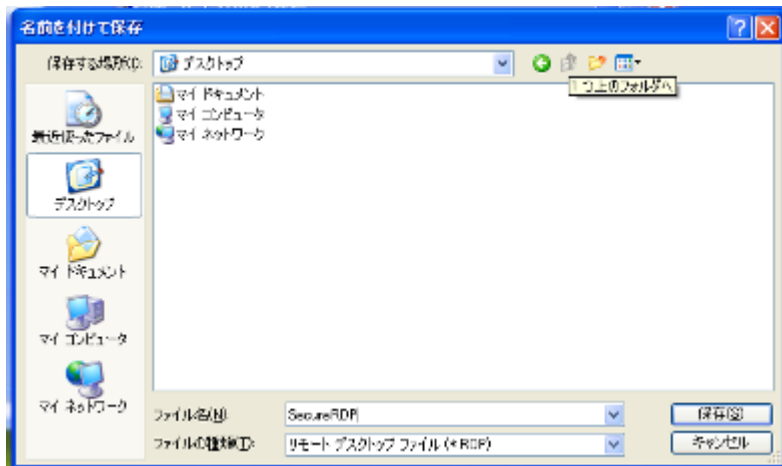
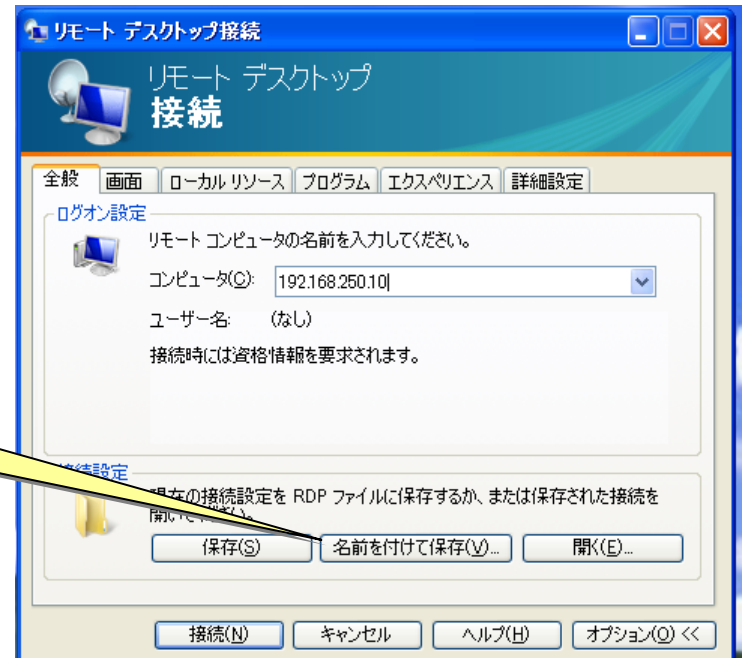
ここは、モバイル環境からデータセンター側のWindowsにログインする場合に設定します。

今回は、この設定をする必要はありません。

リモートデスクトップ接続を設定する(接続設定の保存)

すべての設定が終わったら、
設定を保存しましょう。

「全般」のタブをクリックして右の画面を開き、
「名前を付けて保存」をクリックして下さい。



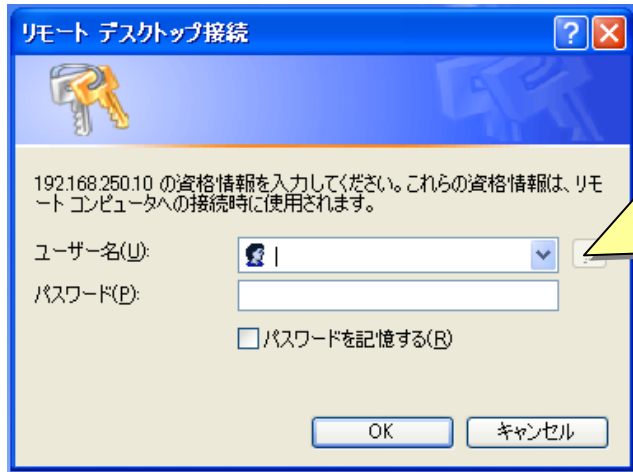
1. 保存する場所は「デスクトップ」を選択します。
2. ファイル名を「SecureRDP」とします。
3. 「保存」をクリック
4. デスクトップに右のアイコンが出来ます
これで設定が完了しました。
最後に「キャンセル」をクリックして終了です。



データセンター側のWindowsに接続してみよう



1. デスクトップに表示されている左の「SecureRDP」と言うアイコンをダブルクリックして下さい。

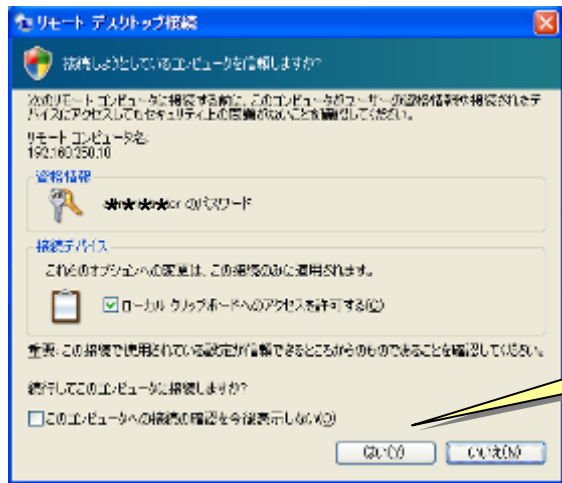


この画面が出てきたら

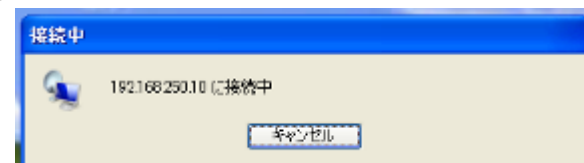
1. ユーザー名に自分のユーザー名を入力
2. パスワードに自分のパスワードを入力
3. 「OK」をクリック

※注意

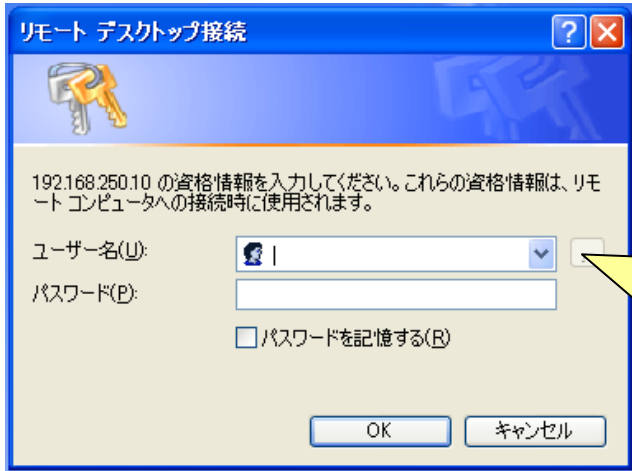
「パスワードを記憶する」のチェックは入れないで下さい。
ここにチェックを入れると、自分以外の人でも、自分が操作したような誤った記録が残ってしまいます。
他人が悪意であなたを偽って操作した場合、あなたの責任になってしまいます。



この画面が出たら「OK」をクリックすると、データセンター側のWindowsに接続します。



データセンター側のWindowsに接続してみよう(注意事項)



リモート デスクトップ接続

192.168.250.10 の資格情報を入力してください。これらの資格情報は、リモート コンピュータへの接続時に使用されます。

ユーザー名(U):

パスワード(P):

パスワードを記憶する(B)

OK キャンセル

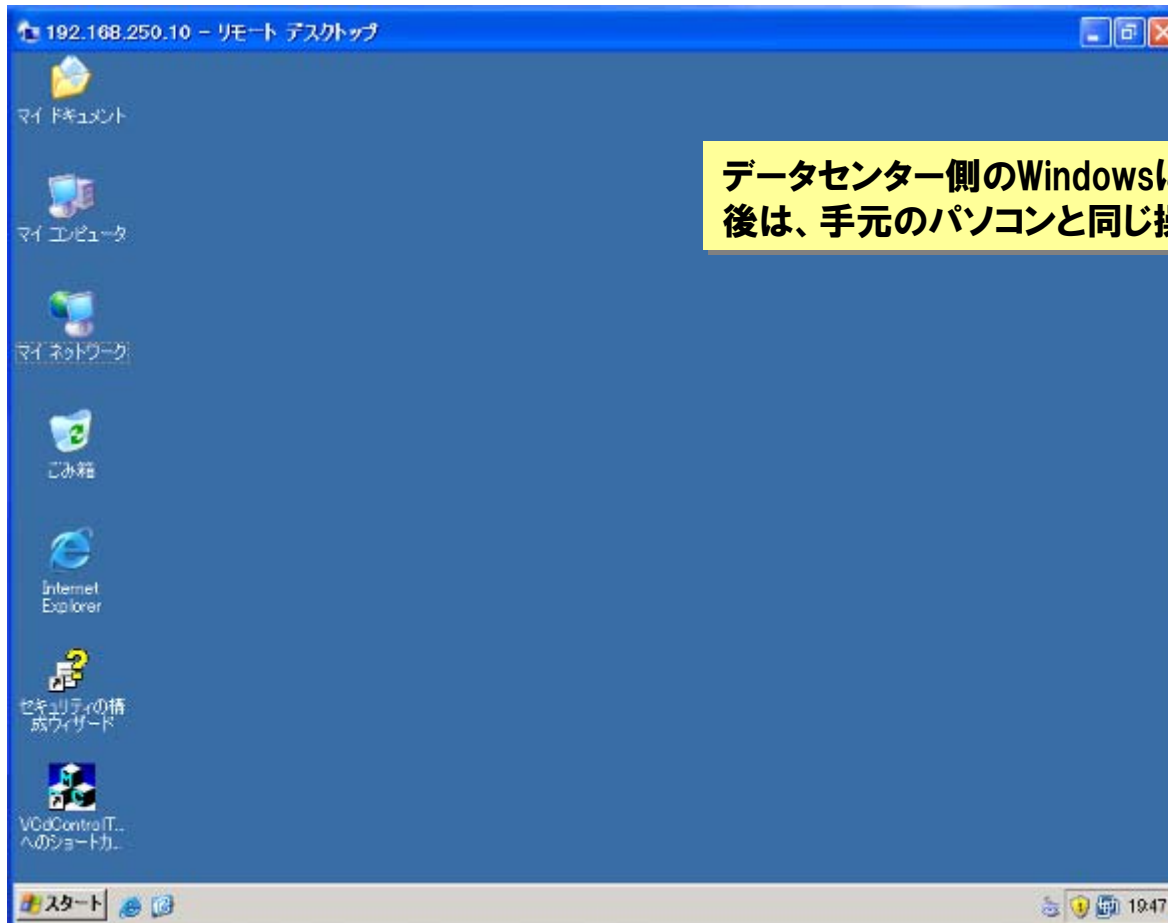
2回目以降、データセンター側のWindowsに接続するとき、ユーザー名の場所に、前回接続した人のユーザー名が残っています。

お手数ですが、そのユーザー名はすべて消して、再度自分のユーザー名を入力してください。

万が一、「パスワードを記憶する」にチェックが入っていた場合は、そのチェックは外して下さい。

データセンター側のWindowsに接続が成功した画面

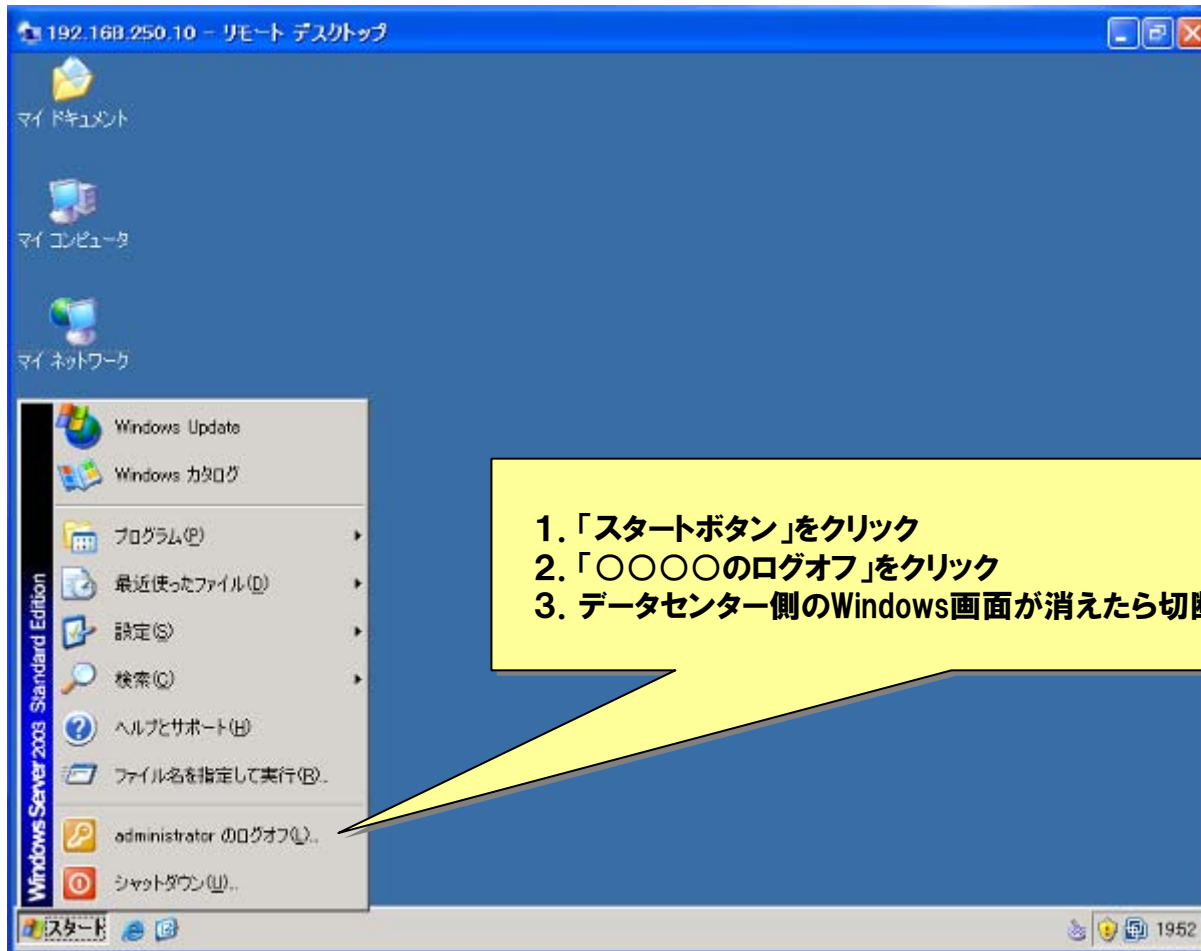
データセンター側のWindowsに接続が成功すると、
自分の手元のパソコン画面とは違うパソコンの画面が表示されます。



データセンター側のWindowsに接続が成功したら、
後は、手元のパソコンと同じ操作になります。

データセンター側のWindowsから切断(ログオフ)してみよう

データセンター側のWindowsから切断(ログオフ)する方法も自分の手元のパソコンの操作と同じです。



1. 「スタートボタン」をクリック
2. 「○○○○のログオフ」をクリック
3. データセンター側のWindows画面が消えたら切断(ログオフ)できました。